

すずかけ

すみだ女性センター

特集 すみだで暮らす外国の人々と日本語

- 2 巻頭インタビュー
- 4 **特集**
すみだで暮らす
外国の人々と日本語
- 8 になりたい自分、になりたい未来
すみだの
「お仕事探訪」
- 9 今日の一字
- 10 すずかけ
インフォメーション
- 12 こんにちは
すみださん



巻頭インタビュー
タレント
JOY さん

こんにちは すみださん

一般社団法人
日本ワークライフバランスサポート協会理事長
武市 海里 さん

表紙イラストは、
すみだ女性センターの
愛称である
「すずかけ」の実です。



タレント

JOY さん

JOY

Profile

昭和60(1985)年生まれ。高校生の時からモデル活動を開始。以来、バラエティやラジオ等でも人気を集める。妻は人気モデルのわたなべ麻衣さん。令和2(2020)年に女兒誕生。自身の家庭・子育てライフをYouTubeチャンネル「JOY MAI HOUSE」等で発信し、話題を呼んでいる。

ご自身が育ったご家庭について教えてください。

僕は群馬県出身の母とイギリス出身の父の間に生まれました。母は語学に堪能でアクティブ。英語やヘブライ語ができ、イスラエルで暮らしたこともある人です。旅行好きだった父が日本を訪れた際、母と出会い意気投合した

のだとか。父は2年前に他界しましたが、家族をとても大切にする人で、母に毎日「I love you」と言い、子どもにおやすみ前のハグやキスをする人でした。僕も夫・父となった今、家族にいつも「ありがとう」「大好きだよ」と伝えて

います。愛情表現を大事にする父のスピリットを自分も受け継いでいると思います。

妻・わたなべ麻衣さんや娘さんについて教えてください。

麻衣ちゃんは本当に素敵な人で、最高の妻であり、すばらしい母であり、一番の親友です。相性抜群で短時間でも離れると寂しいくらい。はーちゃん(娘)が誕生して現在は家族3人、幸せな日々を送っています。娘が生まれた日





は忘れられません。その日、僕は病院に付き添いましたが、予定時刻を過ぎてでも生まれず、一度自宅に戻りました。ソワソワしつつも仮眠をとったのですが、かけたはずの目覚まし鳴らず、あやうく寝過ごすところでした。愛猫が僕に飛び乗って起こしてくれたという奇跡のようなエピソードがあり、何とか出産に間に合い、人生で最高の瞬間に立ち

感謝の気持ちは言葉にしよう。 言わないと伝わらないですよ！

会うことができました。

出産後は育児に大奮闘。出産前から、沐浴、着替え、離乳食づくりなど赤ちゃんのお世話を練習していました。実際にやってみたら全然違う！

おむつ替え一つとっても、ギャザーをフィットさせるのが難しくて漏れてしまったことも。今ではすっかり上手になりました。娘は最近言葉を覚え、僕を引っ張り「ジヨイ！」と言うことも：かわいくて仕方ないです。昨年からは保育園にも通わせています。小さいうちから預けることに迷いがありましたが、今となっては良

かったです。娘は保育園生活でコミュニケーション力を身に付けていますし、麻衣ちゃんが仕事の時間を確保できることも大きいですね。

ご家庭での家事・育児の役割分担を教えてください。

うに部屋を整えたいし、やり方も工夫したくて。子どもの送り迎えやお風呂、寝かしつけもよくやります。ただ、料理は苦手です：そこは妻が担当してくれ、感謝しています。

お互い得意なことをメインでやりつつ、「お願いできる？」「やっておくれ」と声をかけ合い、臨機応変にシエアしています。僕は掃除、洗濯や片付けが好きなので結婚当初からやっています。みんなが気持ち良く過ごせるよ

うにしています。麻衣ちゃんも妊娠時、つわりがとでも辛そうでした。少しでも和らげてあげたいと、「何かできることはある？」とヒアリングをしていました。

夫婦円満のために意識しているのは、家族のために何かをしてもらったら必ず「ありがとう」と言うこと。「言わなくてもわかる」なんて聞くこともありますが、言わなきやわかないし、何度でも言った方が良いですよ！その意識は男性から変えていくべきですね。また、妊娠・出産や生理など、女性の体調変化を気にかけるよ

僕たちは新米ママ・パパなので、手探りで子育てをする中、育児情報に振り回されてしまうこともあります。でも、失敗もしつつ、わが子の笑顔を見ると悩みは吹き飛ばし、子育て、すごく楽しい！最近では育児セラピストの資格を取りたいと勉強中です。全国の男性の皆さんにも、ぜひ、育児を楽しんでほしいです。

すみだで暮らす 外国人の人々と日本語

今、コロナ禍の状況で暮らす私たちですが、何気ない普段の生活の中で乗り物の隣の席に外国人が座っていたり、スーパーで働く外国人を見かけたり、公園で子どもを遊ばせている外国人の家族に出会ったり、たくさんの外国人の姿を見かけるようになりました。

現在、墨田区の人口276,800人(令和4年4月1日現在)に対して、外国人は11,923人、人口の4.3%にあたる23人に1人が住民登録をしています。

私たちももっと自然に外国人に接したいと思いながら、どうして良いかかわからずにいることも多いと思います。そして、日本で暮らす外国人たちも様々な問題や悩みを抱えながら異文化地域での生活を受け入れ、溶け込もうとしています。

そこで、地域で行われている多文化共生の取組みを通して、すみだで暮らす外国人が日本語を学ぶ場をみてみたいと思います。

国名	人数(人)
1 中国	5,526
2 韓国	1,807
3 フィリピン	1,251
4 ベトナム	511
5 台湾	456
6 タイ	378
7 ネパール	282
8 米国	203
9 インド	116
10 ミャンマー	113
その他	1,280
合計	11,923

(令和4年4月1日現在)
資料：墨田区窓口課提供
「国籍別人員調査表」より作成



すみだ国際学習センター

すみだ国際学習センターは、当時、中学校の日本語学級がなかった墨田区で、区独自の施策として2007年に開設された日本語支援機関です。錦糸小学校内にあり、現在は中国、ネパール、フィリピンの3か国から区内中学校に編入してきた14名の生徒が、在籍校に通いながら通室しています。

日本語教師の資格を持つ指導員、支援員合わせて16名が、サバイバル日本語*や日本語基礎、中学校での教科学習につながる日本語の指導を行っています。来日時期や日本語習得状況、国による教科学習のカリキュラムの違いなどから、原則個別指導を行っているとのことでした。

また、『墨田区 外国人児童・生徒受入れの手引き』を作成して、異文化の中で育った児童生徒を受け入れる側として配慮してほしいことをまとめたり、在籍校との連絡帳のやり取りや学校訪問による情報交換を通じて、学校生活への適応を図るよう努めているとのことでした。

* サバイバル日本語とは、挨拶、自己紹介、体調を伝える、数字、教科名や文房具名など学校生活を送る上で最低限必要な言葉。



文花中学校夜間学級

都内には8校の夜間学級があり、そのうちの一つ、墨田区立文花中学校夜間学級を参観しました。文花中学校夜間学級では、様々な事情で学齢期に十分な教育を受けられないまま卒業した人や、母国で中学校を卒業していない外国籍の人が学んでいます。今年度の在籍者数24名、年齢15～58歳（日本人1名、日本国籍の海外出身者6名の他、中国、フィリピン、ネパール、ペルーの外国籍者）。

学年やクラスは、入学時にクラス分けのテストがあり、個々の学習歴や日本語能力に応じて、8クラスに分けられています。授業は1コマ40分で、1校時（午後5時35分）から4校時（午後9時）まであります。1校時の後には給食があり、午後9時5分からの部活動に参加する生徒もいます。

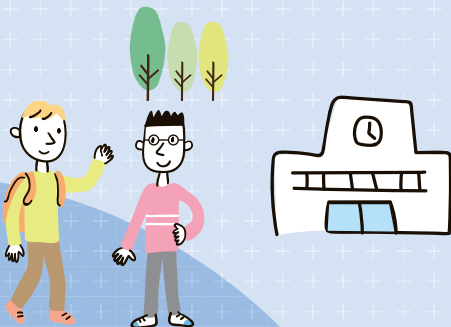
各教室ではタブレットやプロジェクターを活用して、2～5人の生徒が熱心に授業を受けていました。日本語学級では物の単位や読み方、カレンダーを使って日にちの読み方の違いなどを学習していました。技術科と家庭科の授業は実習室で行われていました。

ネパールから家族で来日し8年ほどになるシュレスタさんは、友人の話で夜間学級を知り、自身ももっと勉強がしたいと思い入学したそうです。昼間は仕事、夜は学校で子どもと話せる時間は少ないそうですが、理科や社会が好きで音楽が楽しいと話してくれました。

文花中学校夜間学級には週に2～3回中国語の通訳介助が入っていますが、自ら中国語を学ぶ先生もいるそうです。「十分に学べずここに来ている生徒はたくさんいます。今はコロナ禍で入学者数は減っていますが、ここがなくなるとは困るのです」と話された先生の言葉が印象に残っています。



家庭科実習風景
牛乳パックで
小物入れ作り



ひらがなネット

ひらがなネットは墨田区で「外国人と日本人をつなぐ」をテーマに事業を行い、2012年に設立して今年で10周年の会社です。その活動の一部と外国人との接し方を聞きました。

外国人向けの講座 「これ!知りたい日本の生活」

水曜日 午後2時から午後3時まで
オンライン(無料)
外国人が日本で生活するときに必要な事柄をテーマに隔月で開催。

- 乗り物の乗り方を知ろう
- 調味料について
- もし風邪をひいたら



など、私たちが外国人に教えるときにも役立ちます。

「ひらがなネットしんぶん」

年に4回発行のフリーペーパーでネットでも読めます。漢字にはすべてひらがなのルビがついています。

- ひらがなネット主催の講座やイベントの紹介
- 在住外国人へのインタビュー「わたしの国 日本の生活」
- 「きせつのおはなし」

など、日本人にとっても興味深い内容です。



墨田区からの受託事業

- 「日本語ボランティア養成講座」
外国語の能力は必要ないです。
- 『ご近所の外国人に伝わる「やさしい日本語」』動画
墨田区ホームページ。



誰でも参加できるイベント

- 「ザヤの子育てママ集まれ!!」
- 「みんなで散歩」
- 「和食料理教室」
- 「タイ料理教室」

など、楽しく交流しています。



取材した他にも次のような支援機関や、ボランティア団体があります。

その他の

墨田区の

在籍校と連携する支援機関として

- 日本語通級指導教室(梅若小学校内)

日本語ボランティア教室

お休み中の教室もあります。

- 日本語教室 ようこそ➡すみだボランティアセンターにて
- アット ホームすみだ➡オンライン開催
- 日本語サークル こんにちは! ➡オンライン開催

国の

日本語での学習や生活ができるようになることを支援する情報検索サイト

- 「かすたねっと」(文部科学省総合教育政策局国際教育課が管理・運営)
- 「つながるひろがる にほんごでの暮らし」(文化庁)

「やさしい日本語ハンドブック」 話す編 書く編



話す編 10のポイント



伝えたいことだけに
しぼりましょう。

1.「～です」「～ます」で話してください。

2.短く話すと、わかりやすいです。

3.ゆっくり話してください。

4.最後まではっきり言ってください。

「嫌ってわけじゃない
んだけど…」
↑わかりにくい

5.あいまいな表現は、わかりにくいです。

6.オノマトペ(擬音語、擬態語)は難しいです。

7.敬語を使わないでください。

8.相手のことばを、よく聞いてください。



「いらしてください」
より「来てください」

9.ジェスチャーを使いましょう。

話しながら手やからだも
動かしましょう。

10.やさしい気持ちでコミュニケーションしましょう。



「～へ行く?」より
「～へ行きますか?」

「ほっかほかのお弁当」
より「あたたかいお弁当」



どう接して良いかわからないのはお互いさまです。自国の私たちから挨拶するなどの声かけをしましょう。「やさしい日本語」が一番通じるとのこと。あとは相手のことばをよく聞いて話しましょう。自分が海外に住んだらどうかと想像し、やさしい気持ちで接することが一番だそうです。

海外から新しい土地に移り住み、言葉や慣習など様々な違いに馴染んでいくには時間がかかることも、心理的な負担も少なくないことと思います。そうしたときに、学校や支援活動グループを通じて同じ境遇の人たちと出会い、ともに学びつながりをもてるのは、とても励みになるのではないのでしょうか。

私たち個人が外国の人たちをサポートしたいと思っても、どうしても良いかわからなくてなかなか行動に移せなかったりしてしまいます。しかし今回「外国の人たちには、英語ではなくやさしい日本語で話しかけるのが良い」ということを知り、何かあった時に声をかけ支援を申し出る心のハードルが下がったように思います。大きなことはできなくても、こうした小さなサポートならすぐに実行できるのではないのでしょうか。



押上保育園
保育士

にいくら あいと
新倉 哀斗さん
Aito Niikura

Profile

保育士6年目。1歳児クラスを担当。手に持っているのは「ペープサート」（幼児向けの紙人形劇）用の道具。ちょっとした時間で子どもに楽しんでもらおうと、最近作ったそうです。

子どもたちの生きる力を育む支えになりたい

Q. 保育士の仕事を教えてください。

乳児～未就学児を預かり、保護者に代わって保育をします。食事、睡眠、排泄、身だしなみ等の生活習慣が身に付くようにお世話をするとともに、散歩や工作をはじめ、子どもが様々な体験をできるように活動しています。一人ひとりの生活リズムや発達に合わせてケアしたり、子どもの様子や体調を保護者としてわかり共有することも大切な仕事です。

Q. 保育士を目指した経緯を教えてください。

元々子どもとかかわるのが好きで、保育士に興味がありました。高校生の時、保育専攻のある大学を訪れると、多くの男子学生が学び、卒業後も保育士として活躍していることがわかり、自分もこの道に進もうと決めました。在学中は地域の子育て広場や保育実習で子どもたちと接し、改めて楽しいなと思いました。卒業後、当園で新米保育士として働き始めた



子どもの頃から、よく近所の子たちと集まって遊んでおり、小さな子と接する機会も多かったという新倉さん。そのためか、昔から保育士の仕事に興味があったそうです。

頃は、男性の先輩保育士が同じクラスで指導や助言をしてくれて、とても心強かったです。



Q. やりがいや今後の目標を教えてください。

長期間かかわってきた子どもが、自分で着替えるようになった、順番を待てるようになったなど、前に進めた瞬間に喜びを感じます。子どもたちに驚かされることも多いです。子どもはふと突拍子もない行動をとったり、何もない空間をじっと見つめたりしますよね。でも、実は一人ひとりにそれぞれの興味・関心・発見があり、とても小さな虫を見つけて観察していたり、影の揺らめきに見入っていたり…。一緒に過ごしているとそんな世界が見えてきて、僕自身も楽しいです。これからも、子どものやりたいことや好奇心に寄り添いながら、生きる力を育む支えになりたいです。

お仕事コンシェルジュ

保育士は国家資格です。取得するためには、保育士試験に合格するか、指定保育士養成施設を卒業することが必要です。後者の場合、保育学科等を有する4年制大学・短期大学、保育士専門学校、通信制大学、夜間学校等の選択肢があります。



今日の一字



老若男女、誰もが自分らしく、ハッピーでありたいですね。

男女共同参画社会を目指し、みんながハッピーであるために、

あなたが日々の暮らしの中で感じた思いを「今日の一字」に例えて教えてください。



ムクさん

心が落ち着き、安心している時に良いアイデアが生まれるので、穏やかであることを大切にしたいです。



まいさん

素直な心でありたいです。自分と違う考えの人にも思いをきちんと伝えて、調和したいと思います。



もえさん

「今、この時」を大切に、一つひとつのことに丁寧に向き合っていきたいという思いを込めました。



母さん

母娘ともども友人に支えられて毎日を過ごせているので、とても大切に思っています。



押上保育園に行ってきました！

子どもたちの笑顔集まる初夏の園庭から、見上げた先には東京スカイツリー。そんな押上保育園で、パワフルに働く先生方にお話を伺いました。



一步踏み出せずに止まっちゃうことってあるじゃないですか。そんな時も自分を奮い立たせて、失敗とか過去にとらわれず常に前に進むことを心がけて生きていきたいです。



しのぶさん

今日は息子が楽しみにしている高校の旅行行事。小・中学校を経て、初めて楽しみにしているところを見ました。息子が思う存分楽しめるよう願って!!



ながしーさん

衣食住の一つ、「食」はやっぱり大切。栄養士としてこの保育園で働いています。子どもたちが給食を1日の楽しみにしてくれるといいなと思っています。



うめちゃんさん

「今日の一字」を募集しています

【応募写真のテーマ】

手書きで紙に書いた、「今日の一字」の写真
(1年以内に撮影したもの)
※墨田区在住、在勤、在学の方。
※野線の無い、無地の紙にお書きください。
※スマホ等で撮影した写真も可。

【応募方法】

作品の応募は電子投稿(Eメール)のみとします。以下の内容を記載し、Eメールで応募してください。
1) 応募者(撮影者)の名前(フルネーム、本名)
2) ペンネーム(掲載する際に使用)
※記載の無い場合は本名を掲載します。
3) 一字にのせた思いやエピソード、コメント等(50文字以内)
4) 連絡先(住所、電話番号)

【応募について】

- メールの件名を、必ず「すずかけ漢字投稿」としてください。
- 写真データは2メガバイト以内のJPEG形式をお願いいたします。
- お一人様何枚でも応募可能です。
- 応募1回につき添付する画像は1枚とします。
- 郵送による投稿の受付は行っていません。
- 随時募集しています!

【応募先メールアドレス】

suzukake@city.sumida.lg.jp

【注意事項】

個人情報の取り扱いなど、詳細は右記QRコードより区ホームページ「今日の一字」募集ページをご覧ください。

その他詳細は以下のページをご覧ください

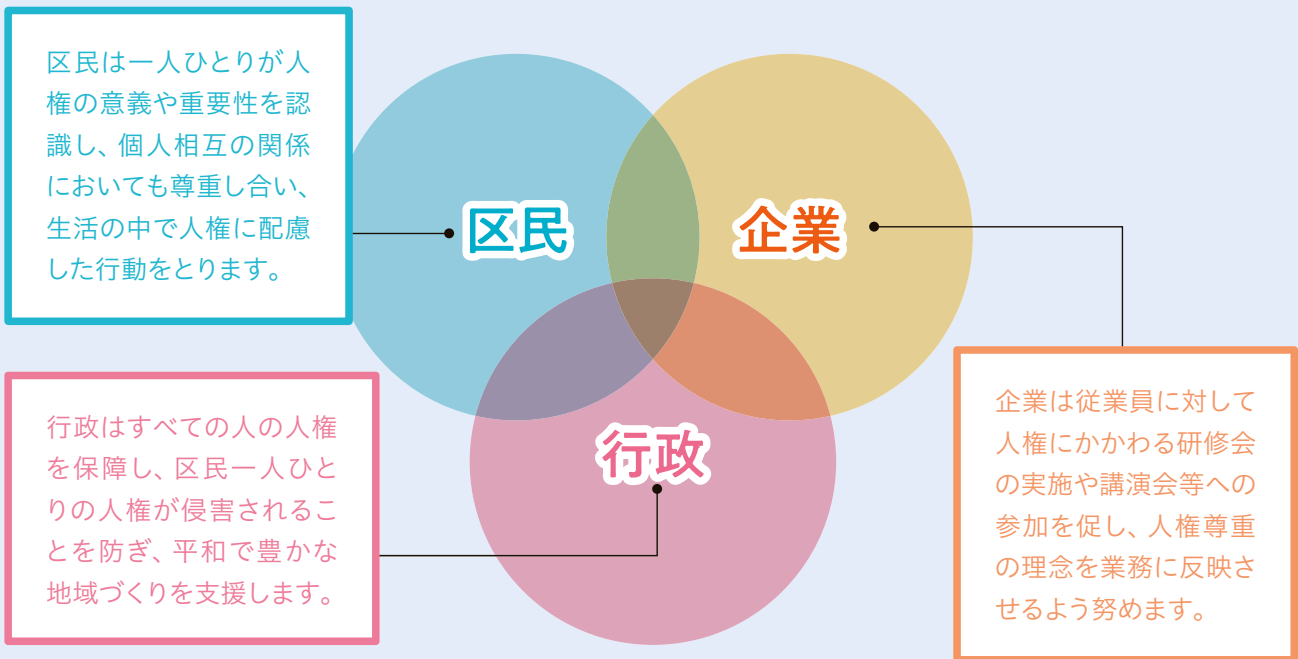


「墨田区人権啓発基本計画」を改定しました

墨田区人権啓発基本計画は、人権を尊重し、多様性を認め合う平和な社会の実現をめざしていくための計画です。これまでの内容を見直し、令和4(2022)年度から令和13(2031)年度までの計画として改定しました。

※墨田区人権啓発基本計画は墨田区公式ホームページでご覧いただけます。

～人権を尊重し、多様性を認め合う平和な社会の実現をめざして～



人権啓発基本計画に特に関連するSDGsの目標



※さまざまな人権について考えるための冊子「人権感覚」を無料で配布しています。配布場所は区民情報コーナー、社会福祉会館、すみだ女性センターです。墨田区公式ホームページからもご覧いただけます。

問合せ先

墨田区総務部
人権同和・男女共同参画課人権同和担当
電話：03-5608-6322
Eメール：JINKEN@city.sumida.lg.jp



検索エンジンまたは
右記QRコードから
ご覧ください



墨田区人権啓発基本計画



女性のためのカウンセリング & DV相談

自分自身の生き方、夫・子どもや家族との関係、夫・恋人(元夫、元恋人も含む)からのあらゆる暴力、性被害、セクハラなど…。

カウンセラーがお聞きして、気持ちの整理や解決の糸口を探すお手伝いをします。
ひとりで悩まずにどうぞお話しください。秘密厳守、相談料は無料です。

対象…女性限定(原則 区内在住・在勤・在学)

面接方法…面接あるいは電話相談で、予約制です

相談日時…	曜日(祝日・年末年始を除く)	時間
	月曜日～水曜日、金曜日	午前10時～午後4時まで
	第2、第4土曜日	午前10時～午後4時まで
	第1、第3木曜日	午後3時～午後8時まで

令和4年4月から
拡充しました

去年に引き続き相談枠をひと月当たり10枠増やしました。

まずは予約のお電話を ☎03-5608-1771

※ご予約は、月～金(祝日、年末年始を除く)午前8時30分から午後5時まで

Wi-Fi環境を整備しました

ホールや会議室等の貸出施設でWi-Fiが使えるようになりました。ぜひご利用ください。

墨田区男女共同参画推進拠点施設

すみだ女性センター ～すずかけ～

◆開館時間◆

[月曜日～土曜日]
午前9時～午後9時
[日曜日・祝日]
午前9時～午後5時

◆アクセス◆

〒131-0045
東京都墨田区押上二丁目12番7-111号
TEL:03-5608-1771
FAX:03-5608-1770

電車の場合

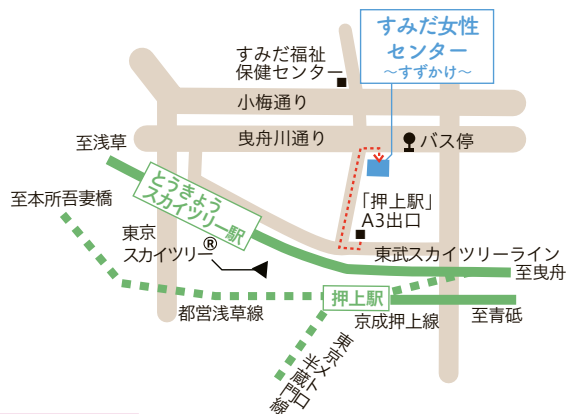


京成押上線・都営浅草線・
東京メトロ半蔵門線
「押上駅」下車A3出口徒歩5分
東武スカイツリーライン
「とうきょうスカイツリー駅」下車
徒歩7分

バスの場合



都バス(錦40)
南千住東口駅～錦糸町駅
「向島三丁目」バス停前徒歩1分
墨田区内循環バス(北西部ルート)
「女性センター」バス停前下車
徒歩1分



編集委員からひとこと

墨田区に暮らす私たちにとっても、日常で外国人と接することは当たり前のことになりました。すれ違うときに外国語の会話が耳に入ることも頻繁です。コロナ禍で私たちの生活が不安定な中、特に外国人は不安な生活を送っていることと思います。今号では、ほんの少しですが、在住外国人の学びの場や接し方のヒントを紹介しました。

先号(91号)の「こんにちはすみださん」で紹介した荒川春子さんより、記事を読んだ方からフードドライブへの食品の寄付が増えたと嬉しいお知らせがありました。記事をきっかけに行動して下さる人がいることを知り、編集部員も明るい気持ちになりました。今号も少しでも外国人理解のきっかけになれば幸いです。

(木ノ内)

すずかけ編集委員会「特集」P4～P7、「こんにちはすみださん」P12担当
川嶋、木ノ内、高林、三岳、横山(五十音順)

一般社団法人
日本ワークライフバランス
サポート協会理事長

たけいち みどり

武市海里さん



近年、高い労働意欲を持つ高齢者が増え、その働く意味や働き方に様々な変化が表れています。

墨田区在住の武市さんは、一般社団法人 日本ワークライフバランスサポート協会を主催し、保育の現場で保育士のサポートをする人を養成する「グランドシッ

ター養成講座」を開講しています。2012年の開講以来、今年は沖縄県からの受講者もあり全国に1000人以上のグランドシッターを送り出しています。武市さんは「定年を迎え、さあ何をしようか？ボランティアでは続かないし、次世代を支えることで社会貢献がしたい」という高齢者の生きがい作りのために何かしたかった」と振り返ります。第一期生の墨田区に住む60代の男性と一緒に保育園に行った

時、園児用の小さなイスにちよこんと座って「懐かしいなあ」と言ったスーツ姿で見学していたその男性の表情がどんどん変わっていくのが気が付きました。保育園を出る時、男性が「面白そうなお仕事ですね」と呟いたのを聞いて保育と高齢者のベストマッチを感じたそうです。

受講生の6割は育児をしたことがない男性ですが、今まで働きづめだったけれどこれからは積極的に育児に参加したいと思う人、子育ての知識を習得して社会の役に立ちたいという人は多くいます。社会経験の豊富な人は、全体を見ることができ、場をわかまえているので保育現場のサポートには向いているそうです。

代」という言葉から「最上級の働く人たち」をイメージして武市さんが発案しました。平成28年版厚生労働白書「人口高齢化を乗り越える社会モデルを考える」にも取上げられています。

講座は月に1〜2回、定員12人で1日5時間2日間の日程で行われます。保育園と幼稚園と認定こども園の違いなどの知識も学習しますが、自分の判断ですぐに行動ができるように、だっこ、おむつの替え方、絵本の読み聞かせ、先輩受講者のアドバイスなど実技が豊富な内容になっています。講座の終わりには卒業試験があり受講生には卒業証書と認定カードが渡されます。



どもと一緒に洗濯物をたたんだり夕食を作ったりしながら帰って来たママを迎える、そんな女性のグランドシッターができたら良いな」と話しています。グランドシッターは民間資格ですが、学んだ知識は現場で生かされ働く意欲にもつながります。そして何よりも温かなふれあいから生まれる子どもたちの安心感がかけがえないものだと思います。

(高林)

